

令和4年度適正化事業諮問委員会 議事録
(一般財団法人近畿貸切バス適正化センター)

1 日 時

令和5年3月1日(水) 14時58分～16時16分

2 場 所

大阪市北区堂島浜2丁目1-25
中央電気倶楽部 2階 213号室

3 議 題

(1) 議長選出

(2) 議事録署名人の選出

(3) 諮問書について

(4) 第1号議案

「令和5年度一般財団法人近畿貸切バス適正化センターの適正化事業に係る事業計画、収支予算及び資金計画」について

(5) 第2号議案

「令和5年度一般貸切旅客自動車運送事業者の負担金の額及び徴収方法」について

(6) 第3号議案

「答申書」(案)について

4 諮問委員総数6名のうち6名出席

(出席者)

会 長 梶元 政明

諮問委員長 西村 弘

諮問委員 寺西 保

同 阿辻 康雄

同 村上 宣人

同 青木 真美

同 西村 真

(順不同・敬称略)

(参考人)

近畿運輸局自動車交通部旅客第一課長 本田 泰彦

(事務局) 3名

5 会議概要

(1) 一般財団法人近畿貸切バス適正化センター榊元会長が挨拶を行った。

(2) 西村 弘 諮問委員長が挨拶を行った。

(3) 定足数の確認

本諮問委員会が適正化事業規程第 17 条及び適正化事業諮問委員会規程第 6 条第 1 項に規定する定足数を満たし成立していることを宣言。

(4) 議長の選任

適正化事業諮問委員会規程第 3 条の規定に基づき、西村 弘 諮問委員長が議長に選任された。

6 議事録署名人の選出

西村 弘 委員長が議長となり議案の審議に入り、適正化事業諮問委員会規程 第 8 条第 2 項に基づき議事録署名人の選出を行った。

議事録署名人 諮問委員長 西村 弘
諮問委員 寺西 保

7 議案の審議状況及び議決結果

(第 1 号議案)「令和 5 年度の一般財団法人近畿貸切バス適正化センターの適正化事業に係る事業計画、収支予算及び資金計画」について

(第 2 号議案)「令和 5 年度の一般貸切旅客自動車運送事業者の負担金の額及び徴収方法」について

議長から第 1 号議案、第 2 号議案は関連性があるため一括して説明することとの求めに応じて、事務局から配付資料に基づき説明が行われた後、次のとおり、諮問委員からの質問・意見に対して事務局等から回答を行い、審議の結果、原案どおり全員一致で承認決議された。

(議長)

今年度巡回指導を受けた営業所の数が 391 に対して否となった営業所は 86 となっているが、推移はどうなっているのか。また、特に悪質な事業者はなかったのか。あった場合は運輸局へ通報するのか。

(事務局)

全体的な傾向を見ると巡回指導を重ねるごとに否になる事業者は減ってきており、おおむね右下がりである。

特に悪質な事業者はすぐに運輸局へ速報を入れることになっているが、今年度はなか

った。

(議長)

WEB（非対面）でも指導を行ったが、メリット、デメリットをお聞かせいただきたい。

(事務局)

メリットとしては、指導員はセンターで時間にとらわれずチェックができるので、詳しく調査することが可能であること。

デメリットとしては、事前に書類のコピー等を送っていただくので、事業者側の負担が増えることと現場が見られないことである。

(議長)

センターにとっても、二府四県という非常に広域なところを実際にまわって診るといのはなかなか大変だが、現場をみないわけにはいかない。いいところをうまく取り入れるのは今後の課題かと思う。

(事務局)

5年度は対面が基本の方針ですすめさせていただきたい。今まで対面で実施した営業所は284が最高であった。506営業所を対面で実施した実績はまだない。しかし、5年度は当初から目標として計画して進めていく。

(質問・意見)

令和5年度全て対面で実施するに際して、旅費交通費311万6千円という数字は妥当なのか。対面が増えれば額が上がるのではないか。

(事務局)

なかなか難しいが、当初から多めに設定する事は出来ないので、この額になった。

令和2年度3年度の減額分も含めて、いきなり負担金を上げると、事業者の皆さんもしんどいと思われるので、若干少なめで設定させていただいている。

(質問・意見)

経常費用5700万円をベースにして負担金の額を計算されているなかで、3万円といえども一般正味財産から充当する必要はないのではないか。

(事務局)

どこまで節約できるかはわからないが、経費はできるだけ抑えながらやっていく。

(会長)

正味財産については理事でも、必要な分はしっかりとるべきという意見もあれば、事業者はしんどいのでできるだけ会費をおさえてというご意見もあったが、最終的にこのようになった。

今後本当に全部対面で実施すべきか、全営業所へ行くべきか、という意見もあったので、事務局、運輸局、バス協会からも本省に言っていただいて、少しでも効率的なやり方をして会費を抑えていきたいという思いを持っている。しかし、当初の軽井沢の事故があった後の反省に立ったところまで達してないのではないかと思う。しばらくこの状態で続けたい。

(質問・意見)

新しい営業所(事業者)は不安もあって見ていただくのはありがたい。悪質な事業者もたくさんいるのではないかと思う。悪質な事業者は退出していただくのが本来の趣旨だと思うので、事業者によってメリハリをつけていただきたい。

(事務局)

毎回巡回指導後に速やかにその結果をとりまとめて近畿運輸局へ報告している。本当に悪いところは近畿運輸局でまわっている。

(質問・意見)

当初から、改善報告書を巡回指導員宛に出すというフォーマットになっているが、内容を吟味するのは適正化センターなのか。先程いわれた1週間5日のうち3、5日巡回して残り1、5日準備をしてというのでは、改善報告書の検証は非常に時間短いが運輸局と連携しているのか。

(事務局)

結果も含めて毎月1回、運輸局・支局との連絡会議を実施している。改善報告も支局も含めて見ているので、センターだけではなく最終的には運輸局で指導する。

(議長)

知床の事故で国交省に対して厳しい目線もあるので、遺漏のないようによろしくお願ひしたい。

(参考人)

令和4年度の更新申請の数が71件、その中で更新できなかつたので廃止されたのが7、失効した事業者が8であった。

令和4年度の負担金の納付状況は事務局からご説明いただいたが、令和2年度3年度分

を納付されていない事業者が24あった。その中でまだ2事業者残っている。最終的に支払われなければ、引当金を用意していただくことになる。

(会長)

未納の未収金については、令和5年度では平成29年30年令和元年度分の3年分を処理させていただく。

(議長)

いまだコロナ禍から回復途中という中、今回負担金を若干上げさせていただくことになったが、こういう状況の中での金額なのでご理解いただきたい。

(質問・意見)

月によって対面のところと非対面のところがあるのは、事業者側の意向ということか。

(事務局)

非対面の場合、巡回通知を出すときに希望調査票をつけて、非対面か対面かの希望を確認している。中には対面を希望される事業者もいらっしゃる。

(議長)

そのあたりはWEBでの操作に慣れていないという理由もあるのか。

(会長)

WEBで案内しても、書類を1回見てほしいということで訪問する場合もある。

(事務局)

今年は延期が多かったので、年度内に完了するように予定を組みなおすのが困難だった。早めに実施していたので3月には余裕があったが、コロナの第7波の時、指導員2名がコロナに感染して大変苦しかった。ただ、WEBの予定だったので他の指導員に対応してもらいなんとか予定通り実施できた。これが対面だと断って日程をずらしてもらうことになる。

(議長)

事業者側は非常に神経を使ってコロナにならないようにしている中で、持ち込まれても困るというようなこともあるかもしれない。

(事務局)

逆に事業者側から、先方の職員がコロナに感染したので延期してという場合もあった。そ

れで相談をさせていただいて非対面で行ったケースもある。

(質問・意見)

安全を軽視するわけではないが、WEBでも指導するかしないか判断できるなら、事業者側の希望は別にして、旅費交通費のことも考えるとWEBでも可能ではないか。

(事務局)

巡回指導は監査の補完的な位置づけであり、管理体制のチェックとその運用のチェックをするというのを主体にしている。今回は、本省からすべての営業所について実施するようにとの指示があったので、非対面も取り入れて実施した。しかし、来年度は全て対面を基本に考えている。ほとんど動いていないところは、非対面で実施する事もあると思うが、5年度は基本的に対面で指導していきたい。

(議長)

対面・非対面をうまく組み合わせれば、効率的に実施できるが、安全を守れないようになってしまっても困る。質を保ちつつどのようにメリハリをつけて、新しい手段を取り入れていくのかを引き続き考えていただきたい。

(会長)

局とか本省をお願いして効率的に実施したい。そうすることで会費が下げられればよいと思うので、今後も模索していきたい。

(第3号議案)「答申書」(案)について

議長からの求めに応じて、事務局から配付資料に基づき説明が行われた後、原案どおり全員一致で承認決議された。

以上をもって議案の審議及び報告事項の報告を終了したので、16時16分、議長は閉会を宣言した。

以上、この議事録が正確であることを証するため、議事録署名人は記名押印する。

令和5年3月1日

議事録署名人 諮問委員長 西村 弘

同 上 諮問委員 寺西 保